世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報　2012.4.15　№.133　連絡先 FAX 042-555-1911

北朝鮮「ロケット」発射に失敗！北への対応は 非軍事・外交的手段で

北朝鮮は 13 日午前 7 時 40 分ごろ、「人工衛星」と称する「ロケット」の発射を強行しました。発射後、１，２分程度飛行し空中で爆発、いくつもの破片に分かれ、黄海上に落下しました。 国際社会の再三の発射中止要請にかかわらず「ロケット」発射を行ったことに強く抗議したい。

「ロケット」発射は、「弾道ミサイル技術を利用した発射」の中止を求めた国連安保理決議 1874 号（2009 年 6 月）に違反します。日本共産党の志位和夫委員長は 12 日、国会内の記者会見で北朝鮮への対応を問われ、「国際社会が一致した対応をとること、非軍事・外交的手段に徹するという２つの原則が大事だ」、それは「北朝鮮によるこれ以上の地域の緊張を高める行動を押さえる力になる」と述べていますが、その通りだと思います。

日本政府は PAC3 を沖縄県内 4 か所、首都圏 3 か所（東京・市ヶ谷、埼玉・朝霞、千葉・習志野）に配備。沖縄・石垣島では、陸自隊員が PAC3 警備で銃器携行しました。誰に銃口を向けるのでしょうか。地元の話し合いの中で「北朝鮮の実験をきっかけに石垣を自衛隊の拠点にする意図が見え隠れしている」、「軍備で島が守られるのか考える機会にすべきだ」、「PAC3 配備で国や住民を守ると言っているが、私たちはだまされているのではないか」などの声が上がったそうです。（写真：2008 年 11 月、朝霞駐屯地に配備の PAC3、練馬平和委員会）

米MV22オスプレイが訓練中に墜落！ 海兵隊員2人が死亡、2人が重傷

報道によると、11 日、モロッコ南西部アガディールを拠点に行われていたモロッコ軍との合同演習中に米海兵隊の垂直離着陸輸送機 MV22 オスプレイが墜落し、海兵隊員 2 人が死亡、2 人が重傷を負いました。モロッコでの演習は 2008 年から毎年実施され、今年は 7 ～ 18 日の日程で米本土などから派遣された海兵隊員を含む計 1200 人、モロッコ側は 900 人が参加しています。（写真：オスプレイ、海兵隊 HP）

国防総省は、オスプレイを米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）に 9 月末までに最初の 12 機を配備し、最終的に 24 機を配備する予定です。しかしオスプレイは、試作段階で墜落事故を繰り返し、計 30 人が死亡。実用段階に入ってからも空軍使用の CV22 オスプレイが 2010 年にアフガニスタンで墜落し、4 人が死亡しています。専門家からも「欠陥機」と指摘されています。

配備予定の沖縄で反対の声が強く上がるのは当然です。そのため、事前に横田基地も含む本土に一時配備し「試験飛行を実施し、安全性を確認した上で普天間基地に配備する」など姑息な手段を使おうとしています。横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長（福生市など 6 市町長）は 3 月 14 日、オスプレイの横田基地への一時配置の中止を防衛大臣に要請しました。

人口密集地のど真ん中にある横田基地や普天間基地に欠陥機であるオスプレイを一時的にも配備することは、人命も人権も踏みにじるもので、断じて許せません。

普天間基地固定化も許さず、無条件撤去を求めましょう。横田基地も撤去させましょう。

Ｆ/Ａ18戦闘攻撃機が米バージニア州で住宅地に墜落、炎上 （№133の裏面）

米海軍の戦闘攻撃機 F/A18D ホーネットが６日、米東部バージニア州バージニアビーチの住宅街にあるアパートに墜落しました。目撃者によると、戦闘機は炎に包まれ、機体が縦になった状態で墜落。この事故で、住民ら 5 人と、墜落直前に脱出した乗員 2 人が負傷しました。また、この事故で建物 5 棟が損壊し、火災が発生しました。

同型機は 2008 年 12 月に、米サンディエゴ近郊で墜落し、民間人４人が死亡しています。

米海軍の戦闘攻撃機 F/A18D ホーネットの墜落事故を受け、岩国市の住民団体などが９日、同型機が配備されている岩国基地に飛行中止を求めるよう、同市へ要請しました。

市側は「住民団体の意向を基地側に伝える」と述べ、10 日、県とともに同基地を訪ね、早期の原因究明と結果の公表や、事故防止対策を求めました。

市基地政策課によると、同基地のホーネットは 3 部隊三十数機。事故機は複座式の夜間攻撃機で、同型機が約 20 機あります。同基地所属のホーネットは 99 年 1 月、単座式のＣ型機が高知沖の上空で、空中給油訓練中に、別のホーネットと接触して墜落事故を起こしています。

米軍大型輸送機C-5ギャラクシー　強風のため羽田空港に緊急着陸

ハワイ州ヒッカム空軍基地から横田基地に向かっていた米軍大型輸送機 C-5 ギャラクシーが、低気圧による強風のため横田基地に着陸できず、4 日午前 0 時半ごろ、羽田空港に緊急着陸しました。国土交通省東京航空事務所は「米軍機が羽田空港に緊急で着陸するのは聞いたことがなく、珍しい」と話したそうです。

C-5 ギャラクシーは世界最大級の輸送機で全長 75 ｍもあります。巨大な鉄の塊のようなギャラクシーも、風に弱いのでしょうか。米軍は気象情報は調べなかったのでしょうか。夜中に、横田に着陸しようとしたのでしょうか。C-5 ギャラクシーは、午後 3 時 20 分、横田に着陸しました。

横田で不発弾（第2次世界大戦時代の白リン手榴弾）が発見、処理された

4 月 9 日、第 2 次世界大戦時代の白リン手榴弾が、横田基地の東側で、建築の改修時に発見され、10 日 10 時 30 分、爆発によって破壊された、と米軍横田基地のホームページにアップされていました。基地の職員は安全非常線を確立し、横須賀の爆発物処理班の支援を要請しました。 爆発物処理班は 10 日朝、ヘリコプターで到着し、不発弾をフライトライン上の安全な場所に移し、制御された爆発によって破壊され、処理されました。

これは 2011 年 12 月以来、横田で発見された第２の不発弾です。 4 月 10 日破壊されたデバイスは、比較的小さかったため、基地の住民や操作への影響を最小限に抑えました。

北朝鮮「ロケット」発射費用700億円　1900万人の食費１年分

韓国統一省は、北朝鮮が今回の発射に向けて 8 億 5000 万ドル（約 700 億円）を使ったと推計しています。同省などによると、北朝鮮は弾道ミサイル開発 3 億ドル、初歩的な「衛星」開発に 1 億 5000 万ドル、初めて使われた東倉里の基地建設にも 4 億ドル程度かかったと推測。

8 億 5000 万ドルは中国産トウモロコシ 250 万トンを購入できる額です。配給量で計算すると、1900 万人の 1 年分の食料にあたります。北朝鮮の人口は約 2300 万人とされ、国民の 1 年分の食料代に近い額が、今回の発射で消えました。巨額の軍事費投入は、国を滅ぼします。